

平成26年度 公共事業再評価調書(整備状況報告)

(区分) (国補) (県単)

事業名	下水道事業〔釜無川流域下水道事業(国補・県単)〕		事業箇所	韮崎市外6市町	地区名	釜無川流域下水道	実施主体	山梨県
	当初計画	現計画	見直し予定	(2) 整備状況等				
計画期間	S61年度～H17年度	S61年度～H47年度	—	① 整備計画及び状況				
総事業費	39,000百万円	86,700百万円	—	<ul style="list-style-type: none"> 10年間の整備計画(H22年度～31年度) 処理場の整備は、平成31年度末で進捗率90%を目指すこととした。 汚水量の伸びを考慮して、水処理施設、汚泥処理施設の増設を計画的に行う。 平成25年度までに水処理施設の土木工事は完了した。今後は水処理施設の機械電気設備及び、汚泥処理施設等を建設していく。 事業進捗率は平成25年度末で87.4%であり、計画どおり進んでいる。 長寿命化計画は、平成25年度までに処理場施設とポンプ場5箇所を策定した。 				

(1) 事業の概要

① 事業目的及び効果

釜無川流域下水道事業は、韮崎市、南アルプス市、甲斐市、中央市、市川三郷町、富士川町及び昭和町の4市3町で構成された処理区の下水道整備を行うものであり、既成市街地並びに開発住宅地等の生活環境整備を図る。
また、本事業により、富士川並びにその支川の水質保全が図られ、釜無川流域の豊かな自然環境の維持・向上に資するものである。

② 全体計画

- 計画区域面積 : 8,415.0ha
- 下水道計画人口 : 242,490人
- 目標年次 : 平成47年度
- 計画処理水量(日最大) : 174,000m³/日・16池
- 処理方式 : 標準活性汚泥法
- 管渠施設 : 幹線管渠 L=82.8km ポンプ場 8箇所
- 供用開始年月日 : 平成5年4月1日

③ 進捗状況

年度	計画			実績			進捗率(%)	
	事業費(百万円)	年度別事業費(百万円)	事業概要	事業費(百万円)	年度別事業費(百万円)	事業概要	計画	実績
21	73,289	222	釜無川10号幹線管渠建設、韮崎第2A'ヶ'場(機械・電気)	73,342	279	釜無川10号幹線管渠建設、韮崎第2A'ヶ'場(機械・電気)	84.5	84.5
22	73,888	599	水処理施設(土木)、塩素混和池、第二汚泥槽、汚泥濃縮機	73,544	202	水処理施設(土木)9・10池	85.2	84.8
23	74,443	556	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)、塩素混和池、汚泥脱水機	74,346	802	水処理施設(土木)9・10池	85.8	85.7
24	74,858	415	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)	75,743	1,397	水処理施設(土木)9・10池	86.3	87.4
25	75,756	898	汚泥濃縮タンク、焼却炉	75,789	46	水処理施設(土木)9・10池	87.4	87.4
26	76,654	898	汚泥濃縮タンク、焼却炉					88.4
27	77,021	367	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)					88.8
28	77,510	489	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)					89.4
29	77,984	473	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)、汚泥濃縮機					89.9
30	78,351	367	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)					90.3
31	78,866	515	水処理施設(土木)、水処理設備(機械・電気)					90.9

進捗率算出方法

計画事業費/総事業費×100
実施事業費/総事業費×100

幹線管渠(全体L=82.8km)とポンプ場(全体8箇所)は、整備率100%である。

② 今後の事業進捗

今後5年間では予算の平準化を図りながら、完成した水処理施設の稼働のため機械電気設備の設置、増加する汚泥を処理及び減量化するための汚泥処理施設の建設を進めていく。

釜無川流域下水道事業は、計画どおりの進捗状況であり、今後においても、関連7市町と連携を図りながら事業推進していく。

釜無川浄化センターの整備状況写真



